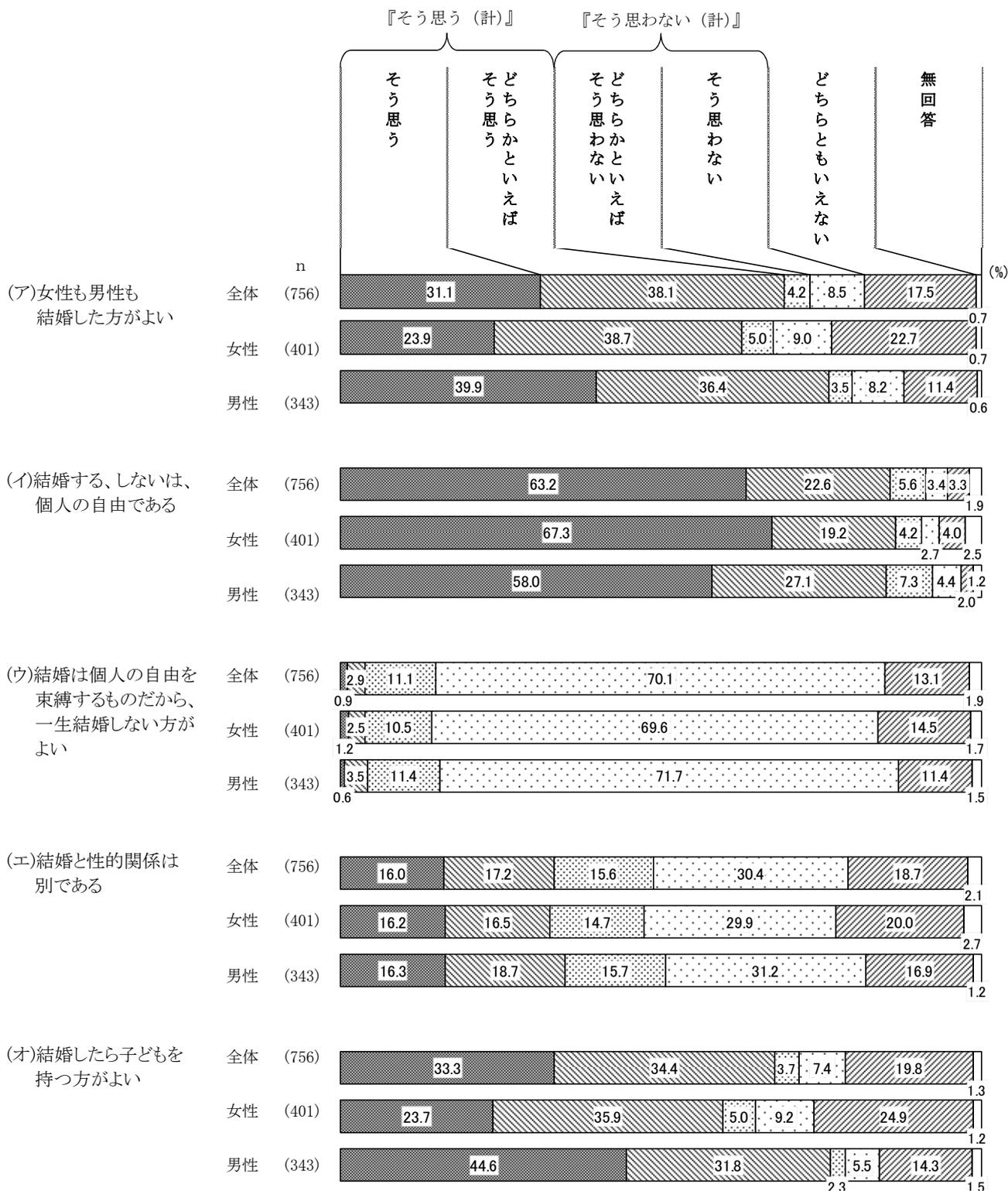


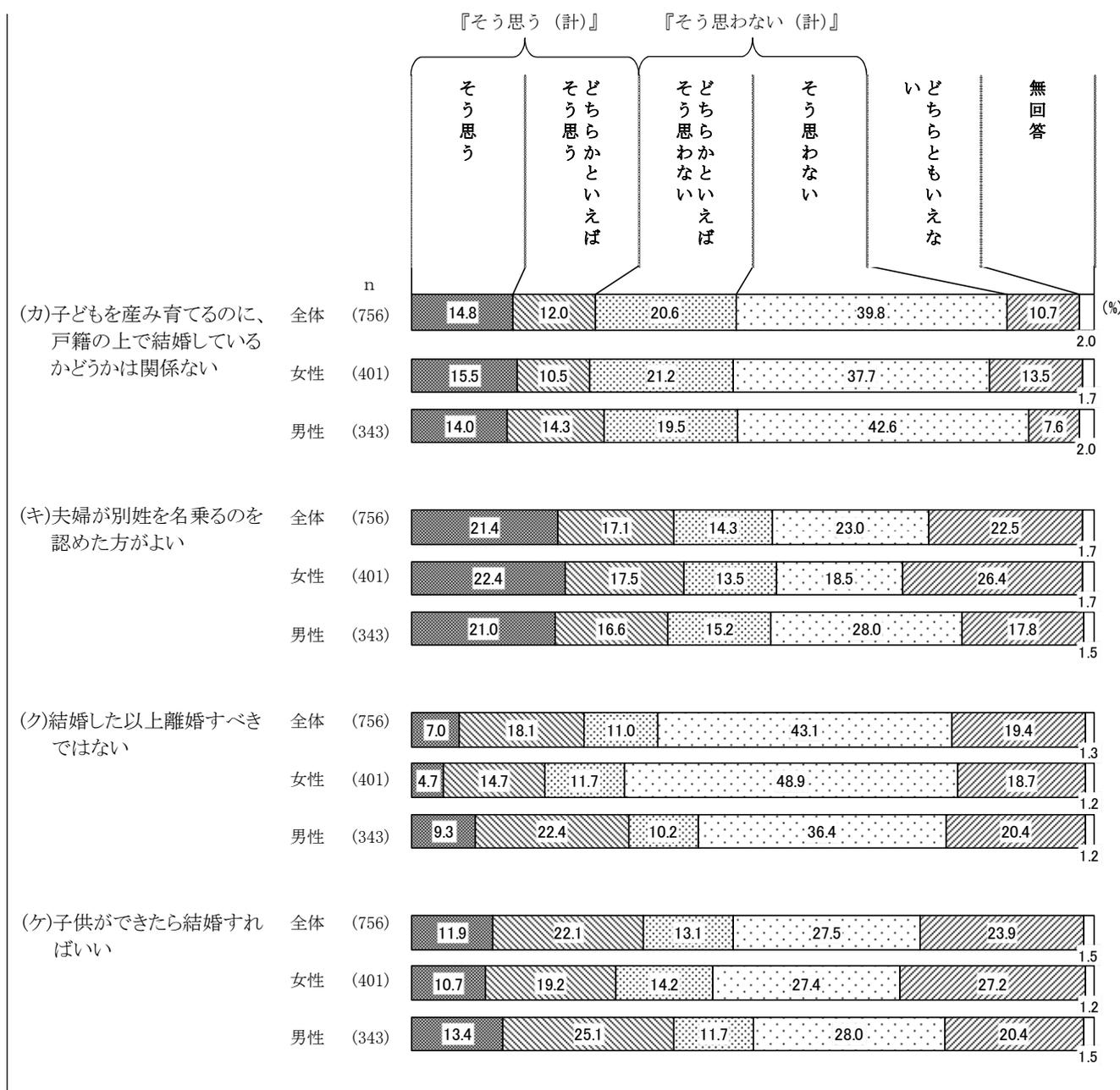
### 3 家庭生活について

#### (1) 結婚についての考え

問3 あなたは、結婚について、次の(ア)～(ケ)の考え方をそれぞれどう思いますか。  
 (ア)～(ケ)それぞれについて、一番近い考えの番号ひとつに○をつけてください。



調査の結果／3 家庭生活について  
(1) 結婚についての考え



結婚についての考えは、『そう思う (計)』は、“(イ) 結婚する、しないは、個人の自由である”が 85.8%で最も高く、次いで“(ア) 女性も男性も結婚した方がよい”が 69.2%、“(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい”が 67.7%となっている。一方、『そう思わない (計)』は、“(ウ) 結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい”が 81.2%で最も高く、次いで“(カ) 子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない”が 60.4%、“(ク) 結婚した以上離婚すべきではない”が 54.1%となっている。

性別で見ると、『そう思う (計)』は“(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい”で男性が女性よりも 16.8 ポイント高くなっている。“(ア) 女性も男性も結婚した方がよい”も男性が 13.7 ポイント、“(ク) 結婚した以上離婚すべきではない”も男性が 12.3 ポイント高くなっている。一方、『そう思わない (計)』は“(ク) 結婚した以上離婚すべきではない”で女性が男性よりも 14.0 ポイント高く、“(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい”も女性が 6.4 ポイント高くなっている。

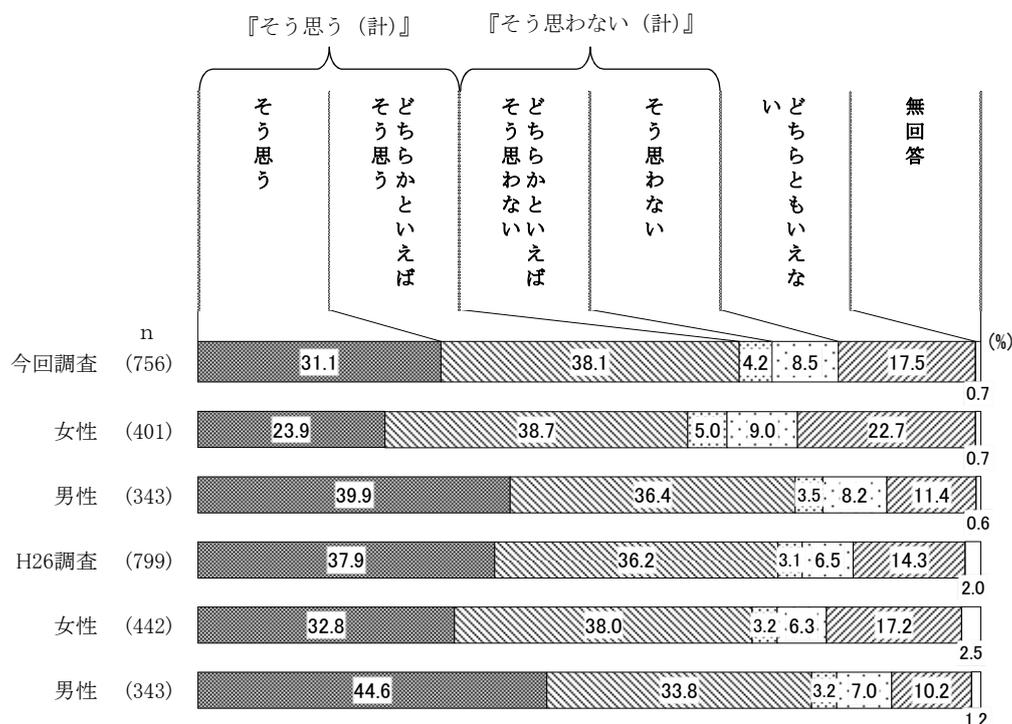
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(ア) 女性も男性も結婚した方がよい

【前回調査（平成 26 年）との比較】

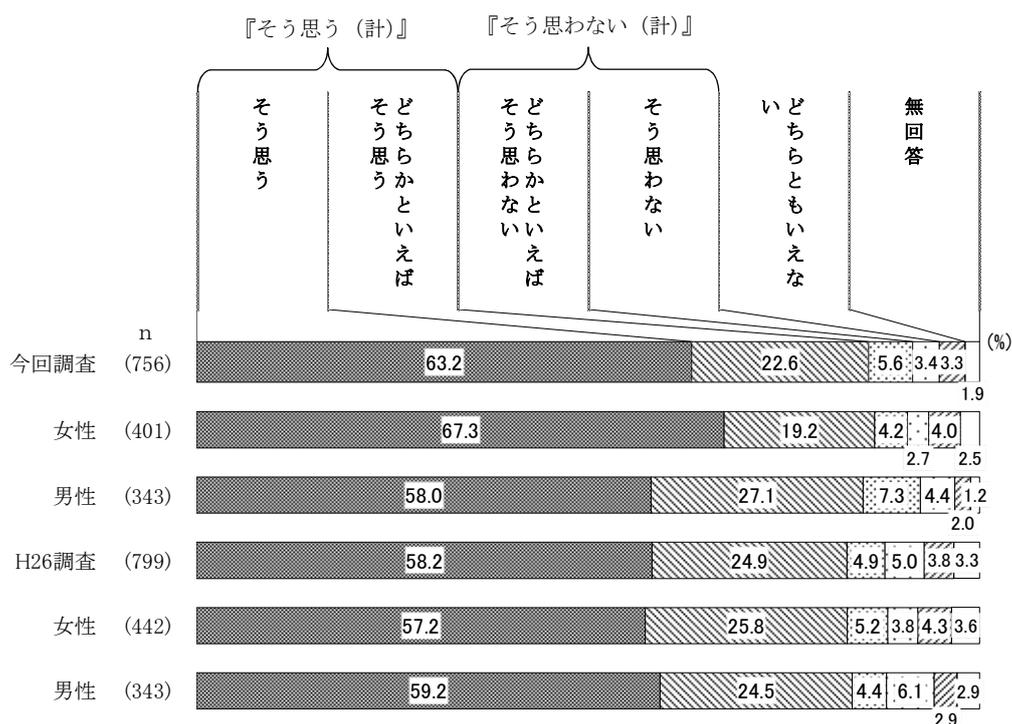
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』は全体で今回調査が前回調査よりも 4.9 ポイント低くなっており、女性も今回調査が 8.2 ポイント低くなっている。



(イ) 結婚する、しないは、個人の自由である

【前回調査（平成 26 年）との比較】

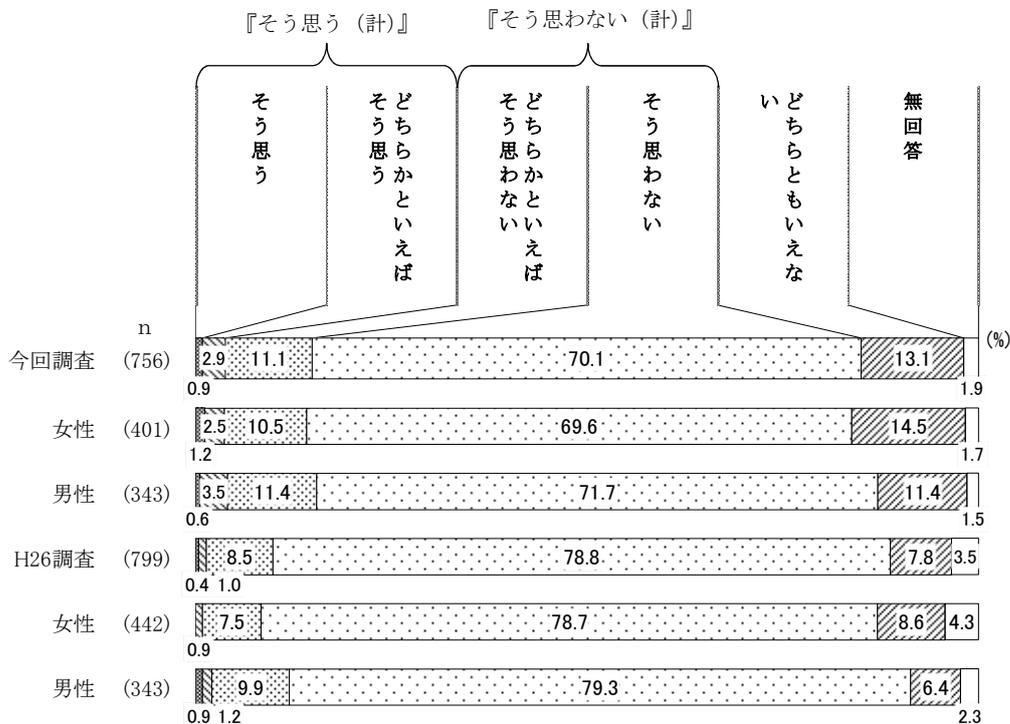
前回調査と比較すると、全体で大きな差異はみられないが、『そう思う（計）』は女性で今回調査が前回調査よりも 3.5 ポイント高くなっている。



(ウ) 結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい

【前回調査（平成 26 年）との比較】

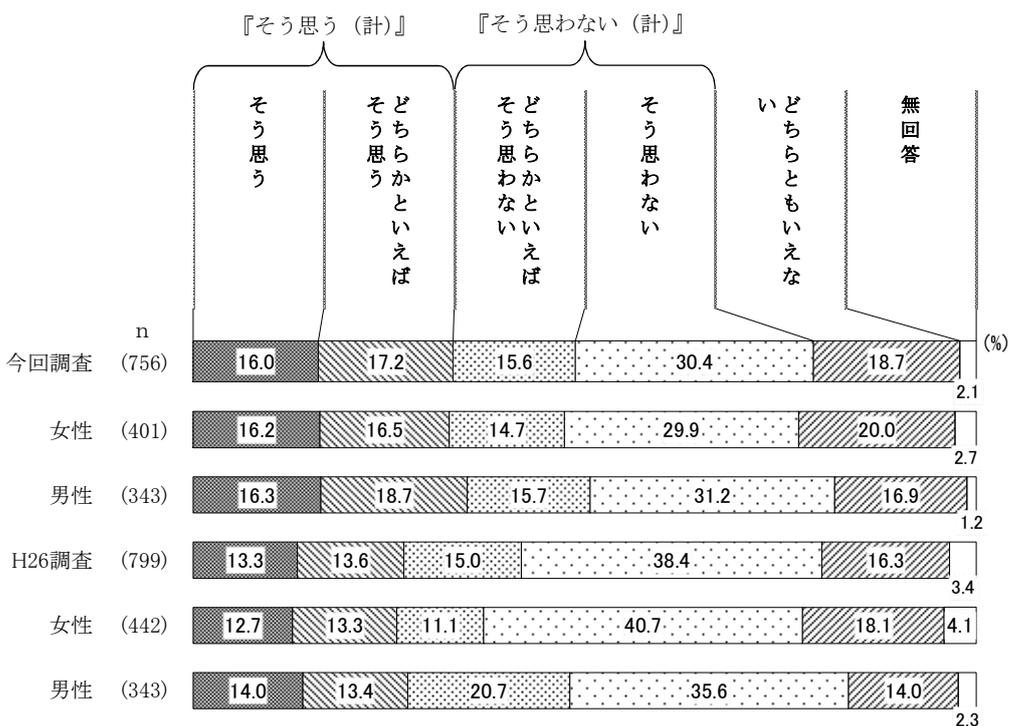
前回調査と比較すると、『そう思わない（計）』は全体、女性、男性すべてで今回調査が前回調査よりも 6.1 ポイント低くなっている。



(エ) 結婚と性的関係は別である

【前回調査（平成 26 年）との比較】

前回調査と比較すると、『そう思わない（計）』は全体で今回調査が前回調査よりも 7.4 ポイント低くなっており、女性も今回調査が 7.2 ポイント、男性も今回調査が 9.4 ポイント低くなっている。



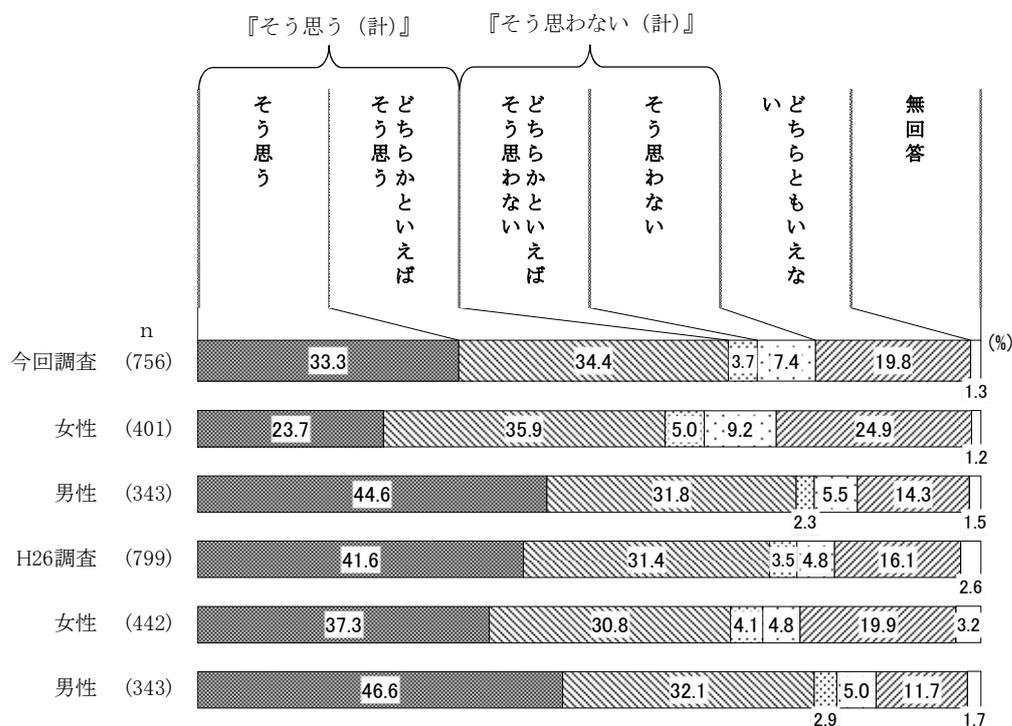
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい

【前回調査（平成 26 年）との比較】

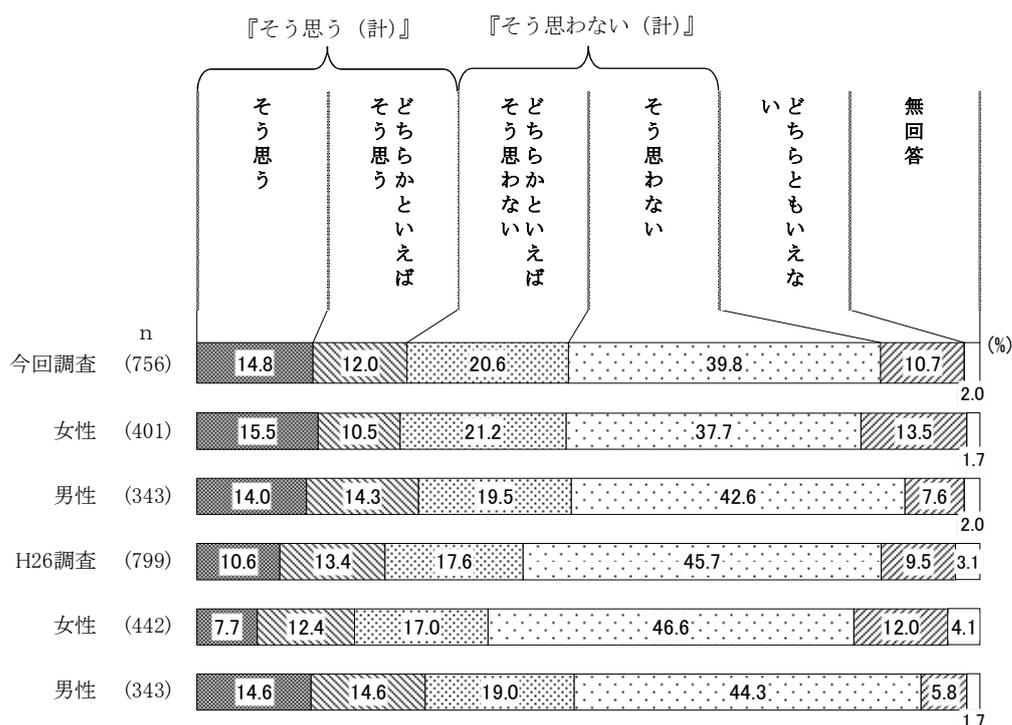
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』は全体で今回調査が前回調査よりも 5.3 ポイント低くなっており、女性も今回調査が 8.5 ポイント低くなっている。



(カ) 子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない

【前回調査（平成 26 年）との比較】

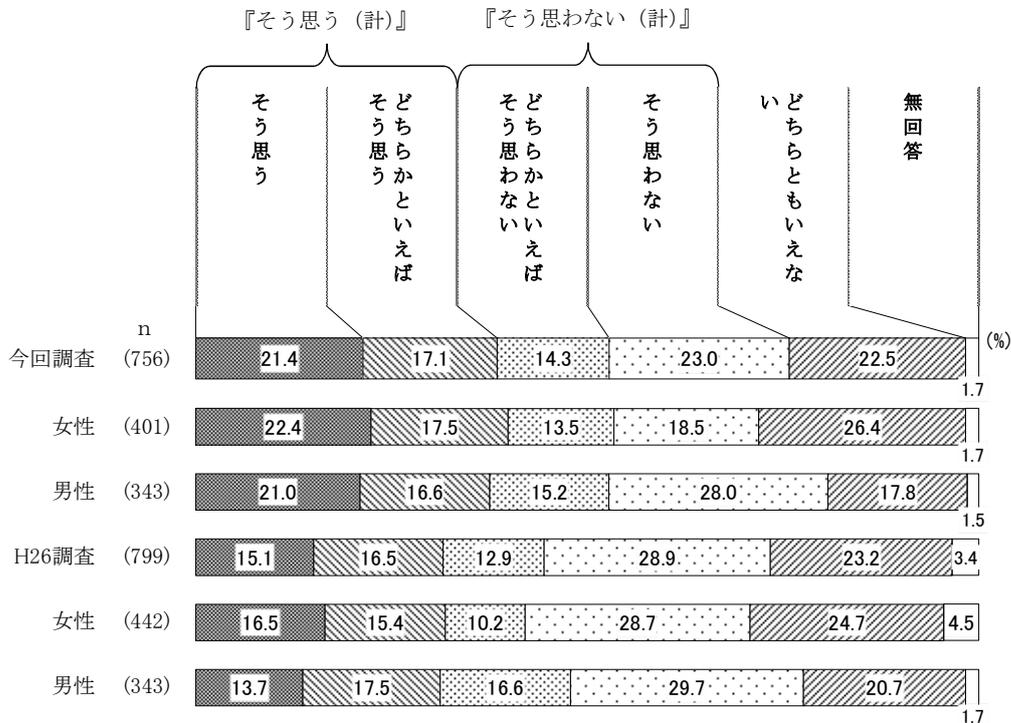
前回調査と比較すると、全体で大きな差異はみられないが、『そう思う（計）』は女性で今回調査が前回調査よりも 5.9 ポイント高くなっている。



(キ) 夫婦が別姓を名乗るのを認めた方がよい

【前回調査（平成26年）との比較】

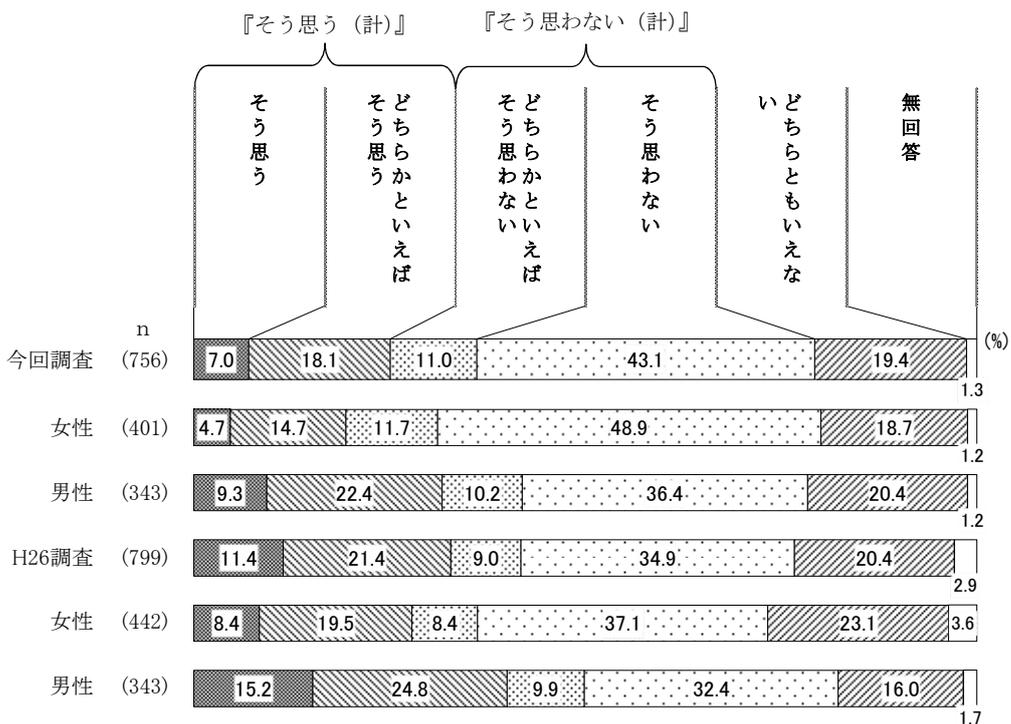
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』は全体で今回調査が前回調査よりも6.9ポイント高くなっており、女性も今回調査が8.0ポイント、男性も今回調査が6.4ポイント高くなっている。



(ク) 結婚した以上離婚すべきではない

【前回調査（平成26年）との比較】

前回調査と比較すると、『そう思わない（計）』は全体で今回調査が前回調査よりも10.2ポイント高くなっており、女性も15.1ポイント高くなっている。



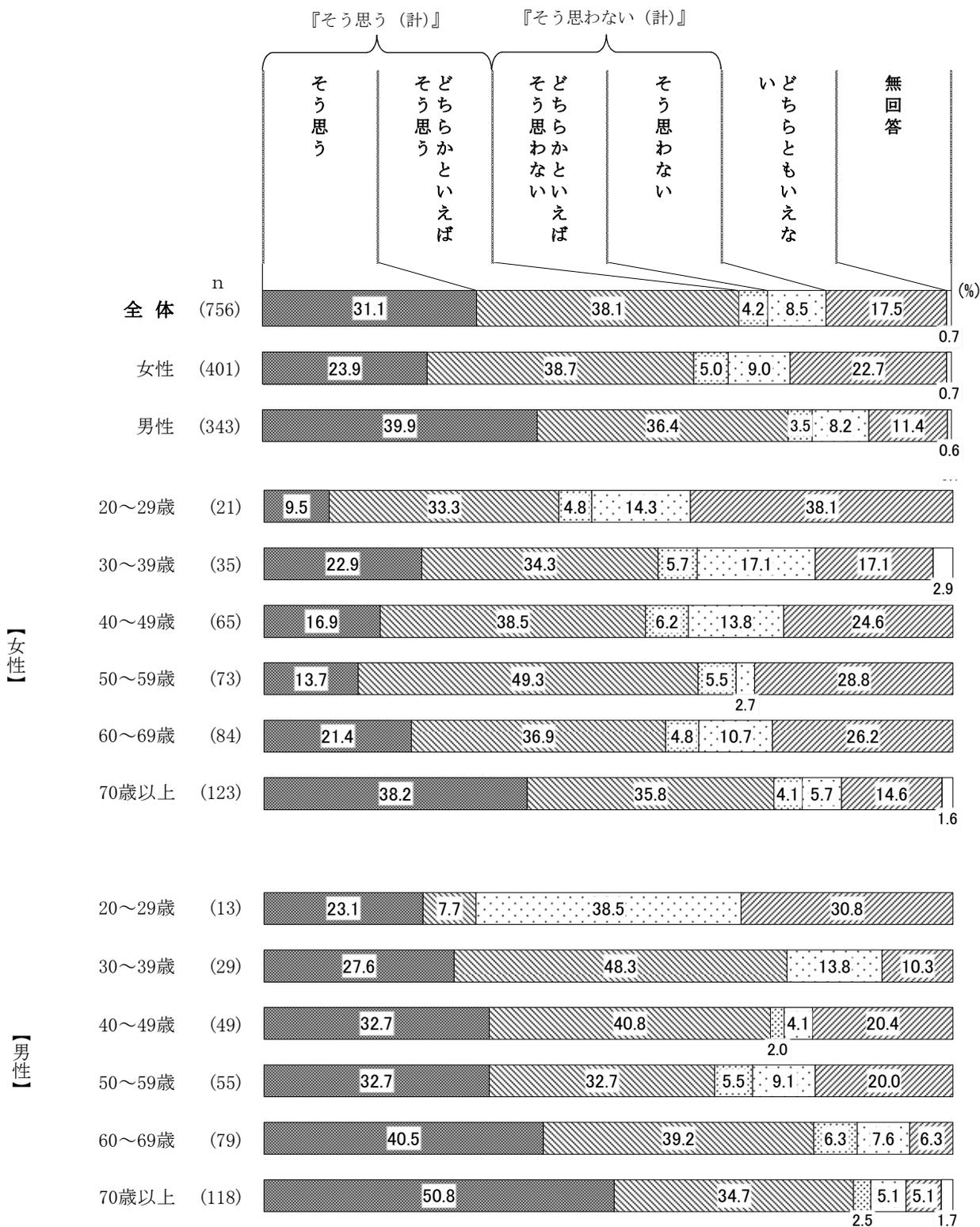
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(ア) 女性も男性も結婚した方がよい

【性・年齢別】

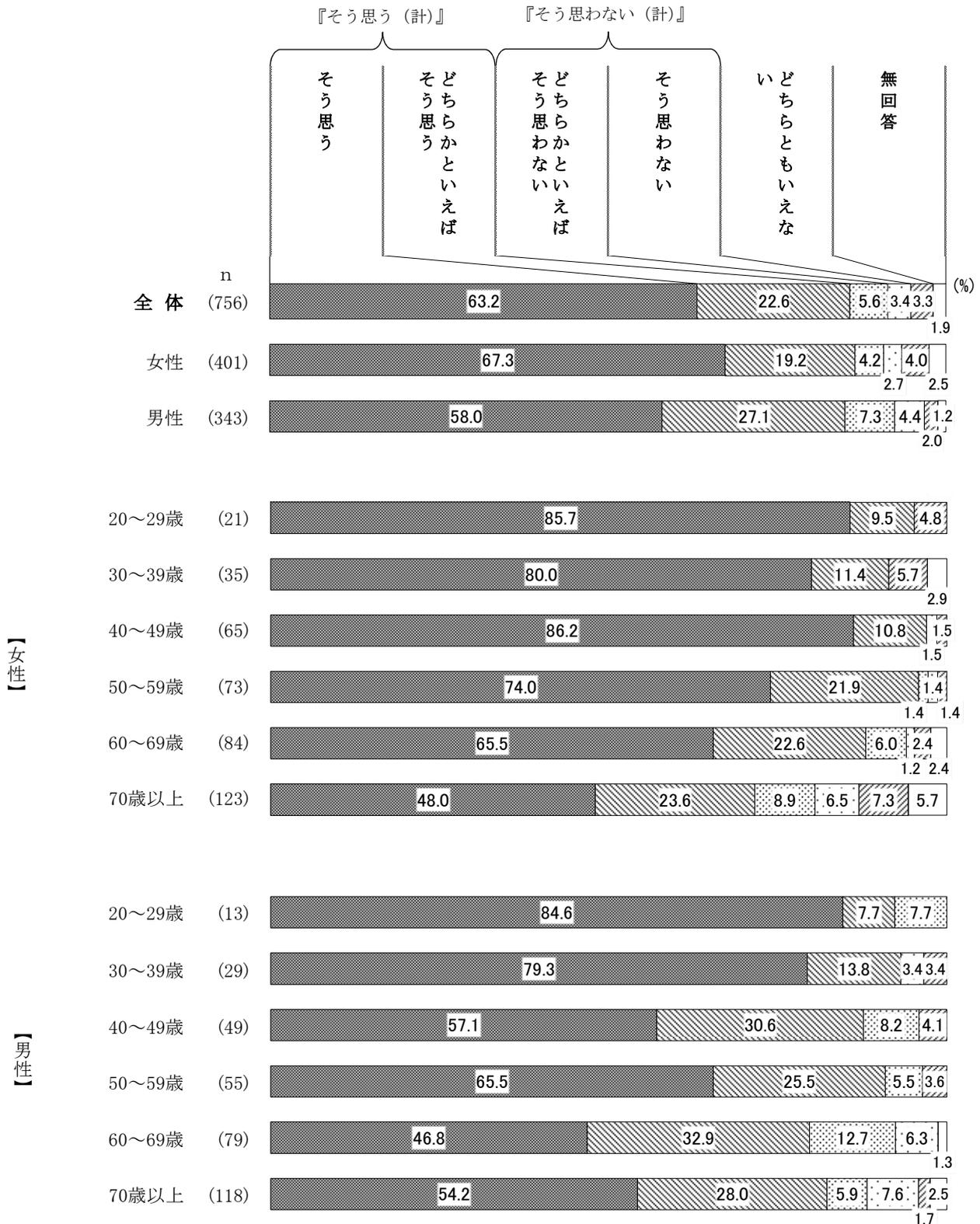
性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性70歳以上で8割半ば、男性60～69歳で約8割、女性70歳以上、男性30～39歳、40～49歳で7割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、男性20～29歳で約4割、女性30～39歳で2割を超え、女性40～49歳で2割となっている。



(イ) 結婚する、しないは、個人の自由である

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、女性40～49歳で約10割、女性20～29歳、50～59歳、男性30～39歳で9割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、男性60～69歳で約2割、女性男性70歳以上で1割半ばとなっている。



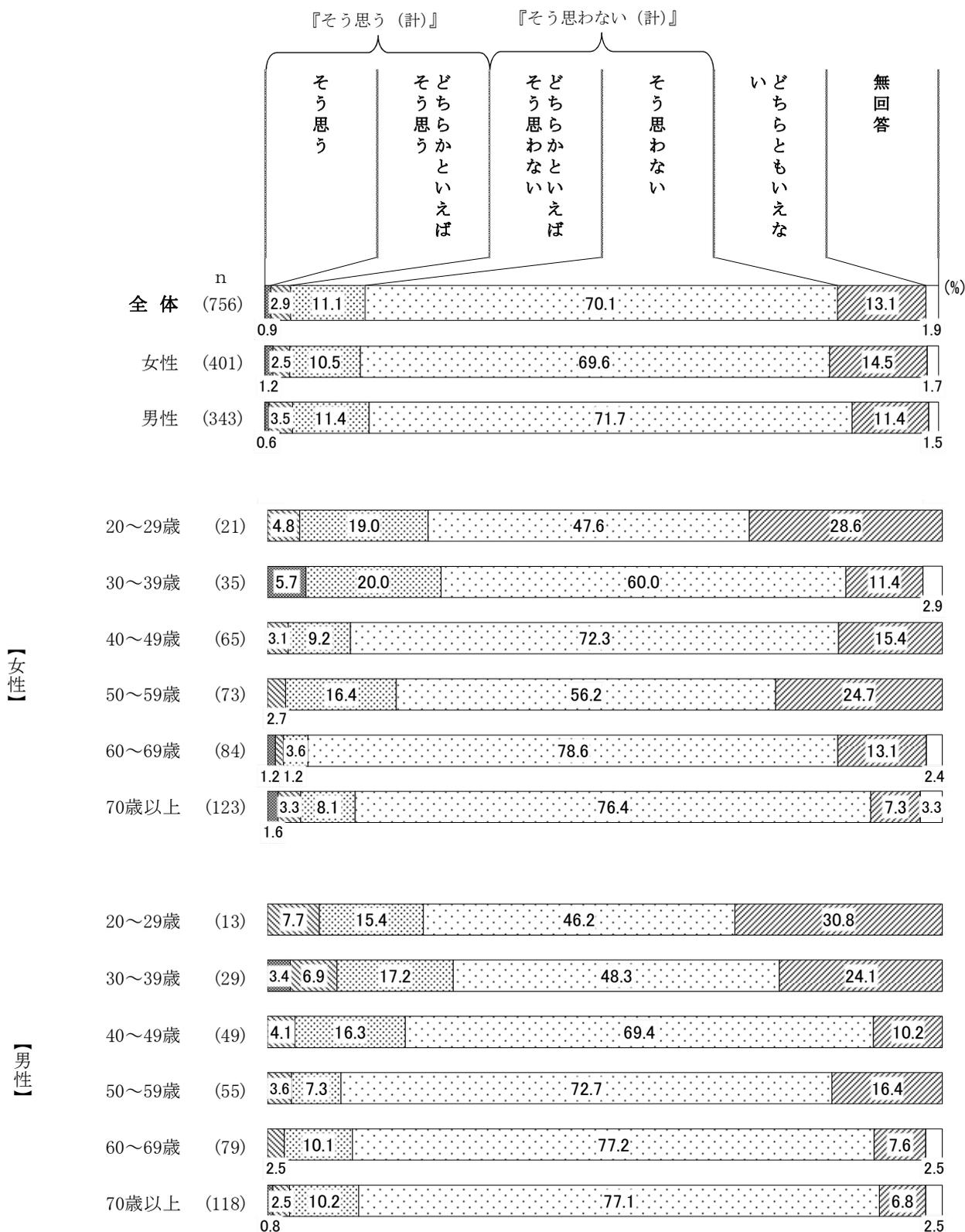
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(ウ) 結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい

【性・年齢別】

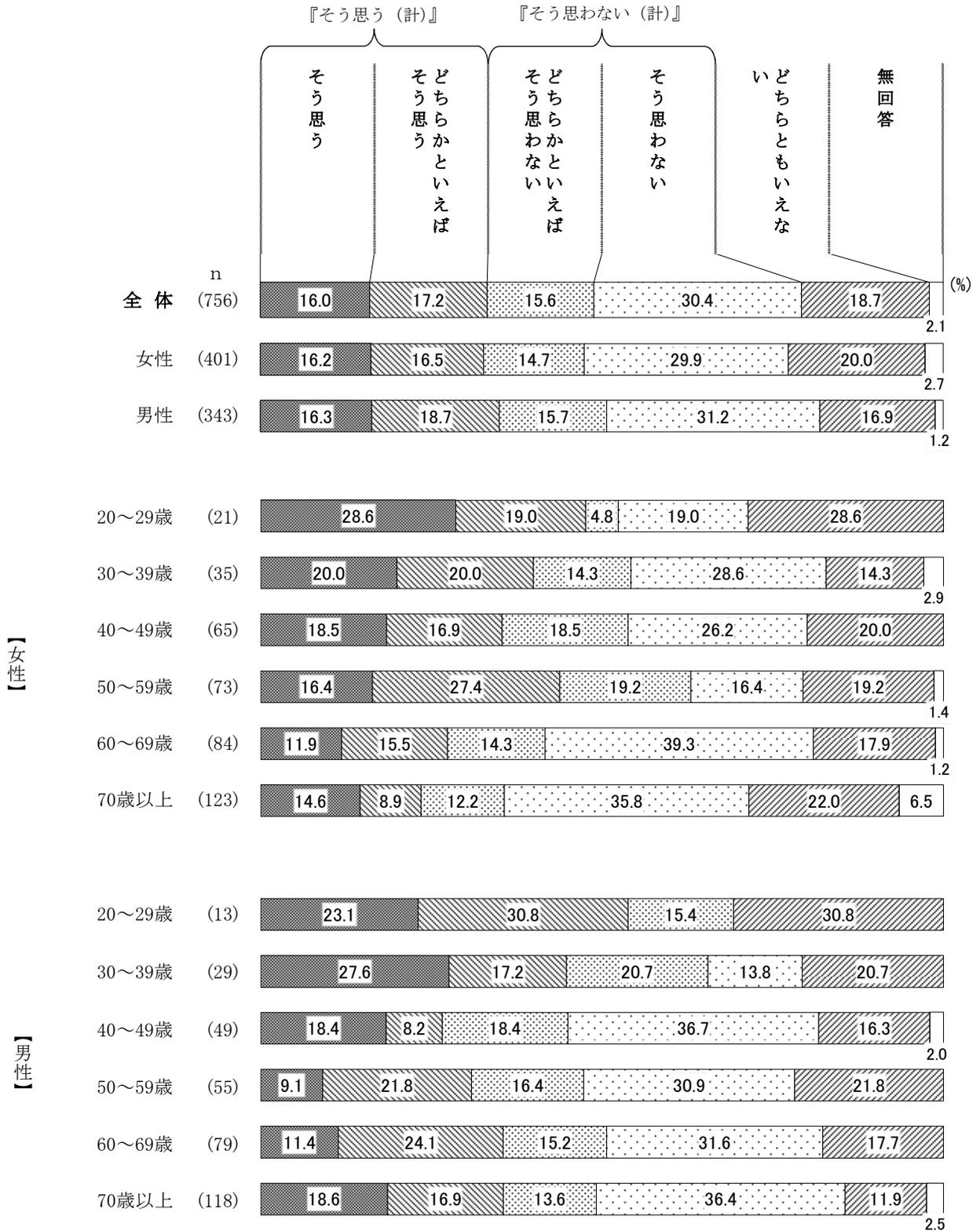
性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性30～39歳で1割となっている。一方、『そう思わない(計)』は、男性60～69歳、70歳以上で約9割、女性70歳以上、男性40～49歳以上で8割半ばと高くなっている。



(エ) 結婚と性的関係は別である

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性20～29歳で5割半ば、女性20～29歳で約5割、女性50～59歳、男性30～39歳で4割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、女性60～69歳、男性40～49歳で5割半ば、男性70歳以上で5割、女性70歳以上、男性50～59歳で約5割と高くなっている。



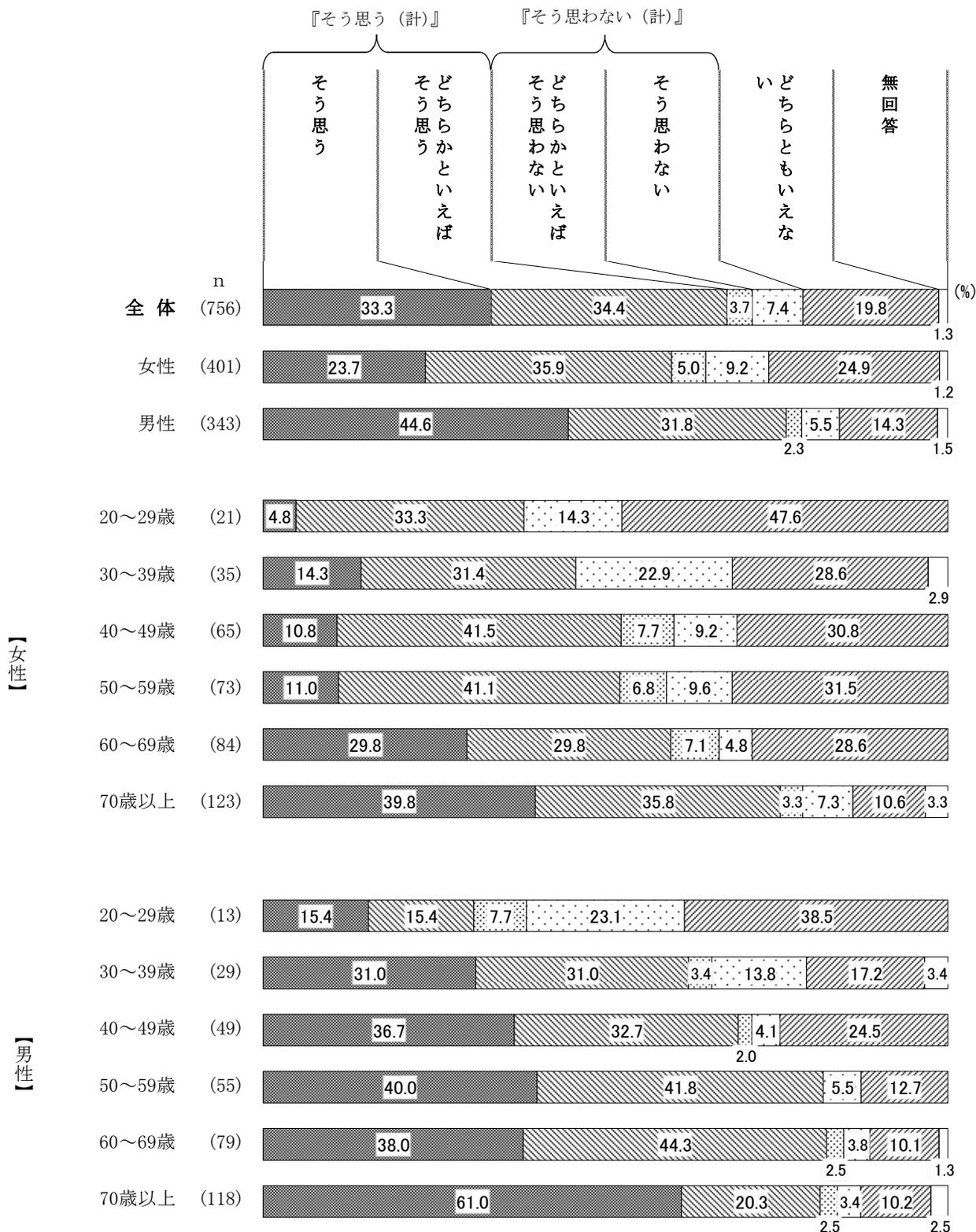
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい

【性・年齢別】

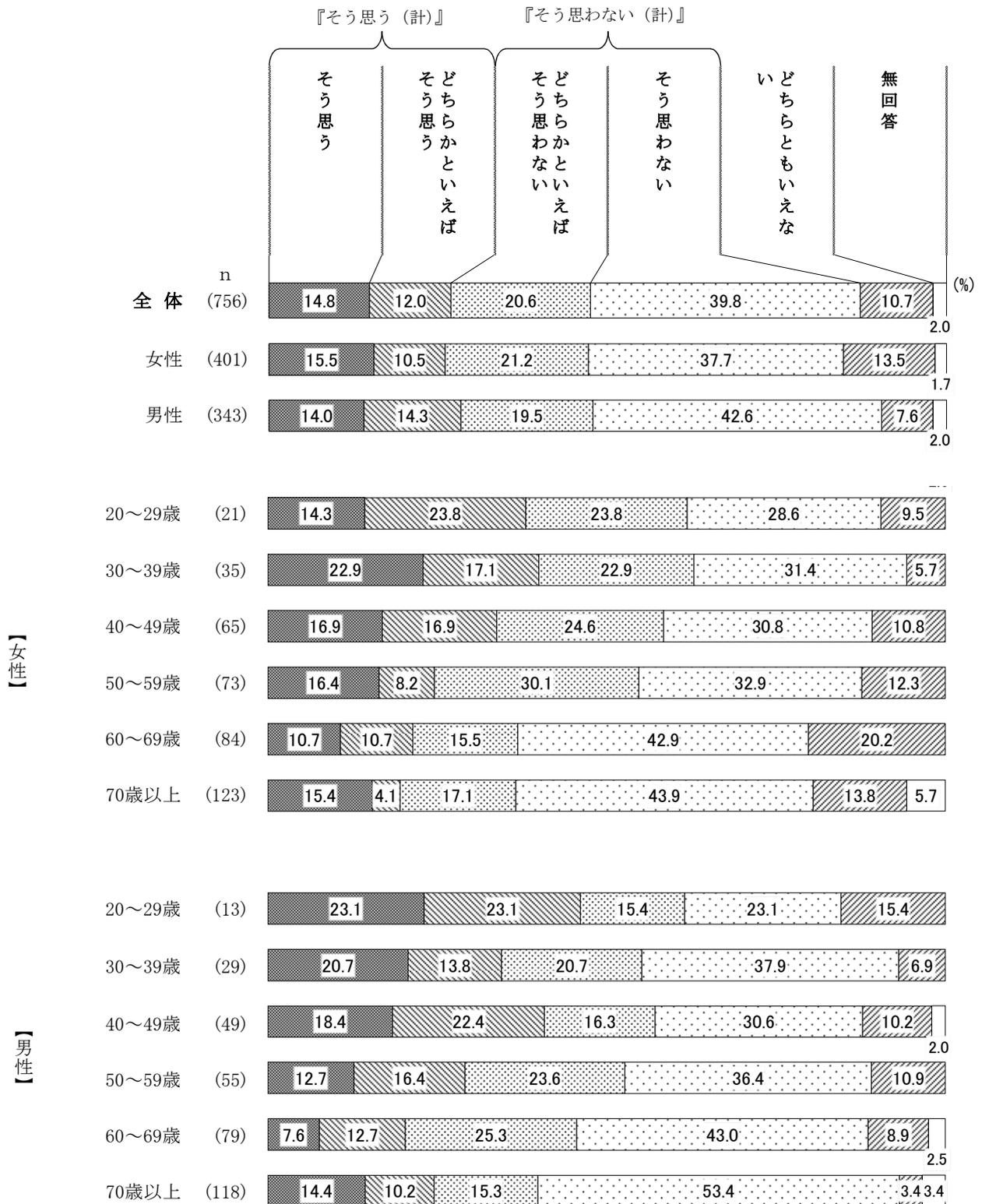
性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性 50～59 歳から 70 歳以上で 8 割を超え、女性 70 歳以上で 7 割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、男性 20～29 歳で 3 割、女性 30～39 歳で 2 割を超えている。



(カ) 子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性 20～29 歳で 4 割半ば、女性 30～39 歳、男性 40～49 歳で 4 割と高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、男性 60～69 歳、70 歳以上で約 7 割、女性 50～59 歳で 6 割半ば、女性 70 歳以上で 6 割を超えて高くなっている。



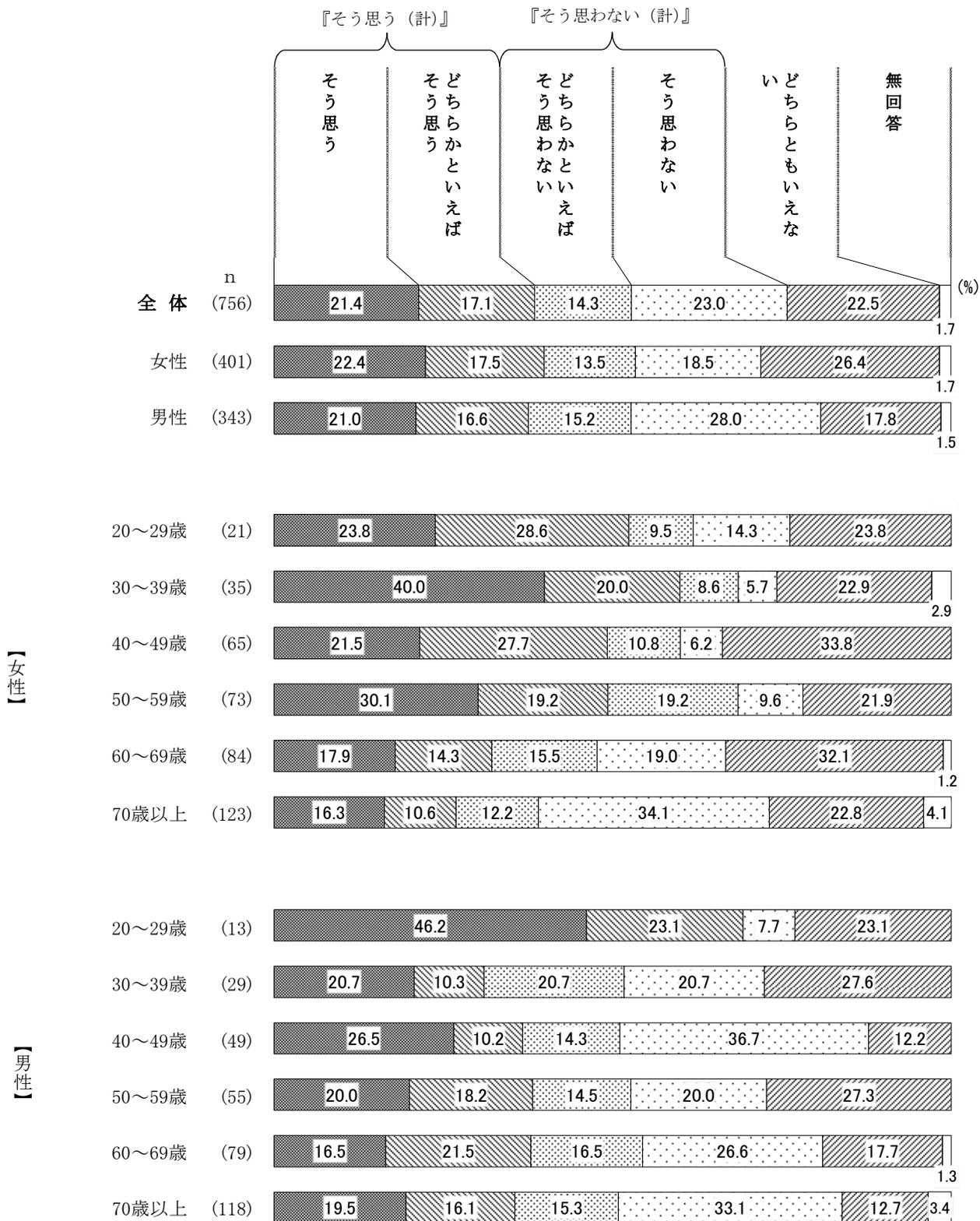
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(キ) 夫婦が別姓を名乗るのを認めた方がよい

【性・年齢別】

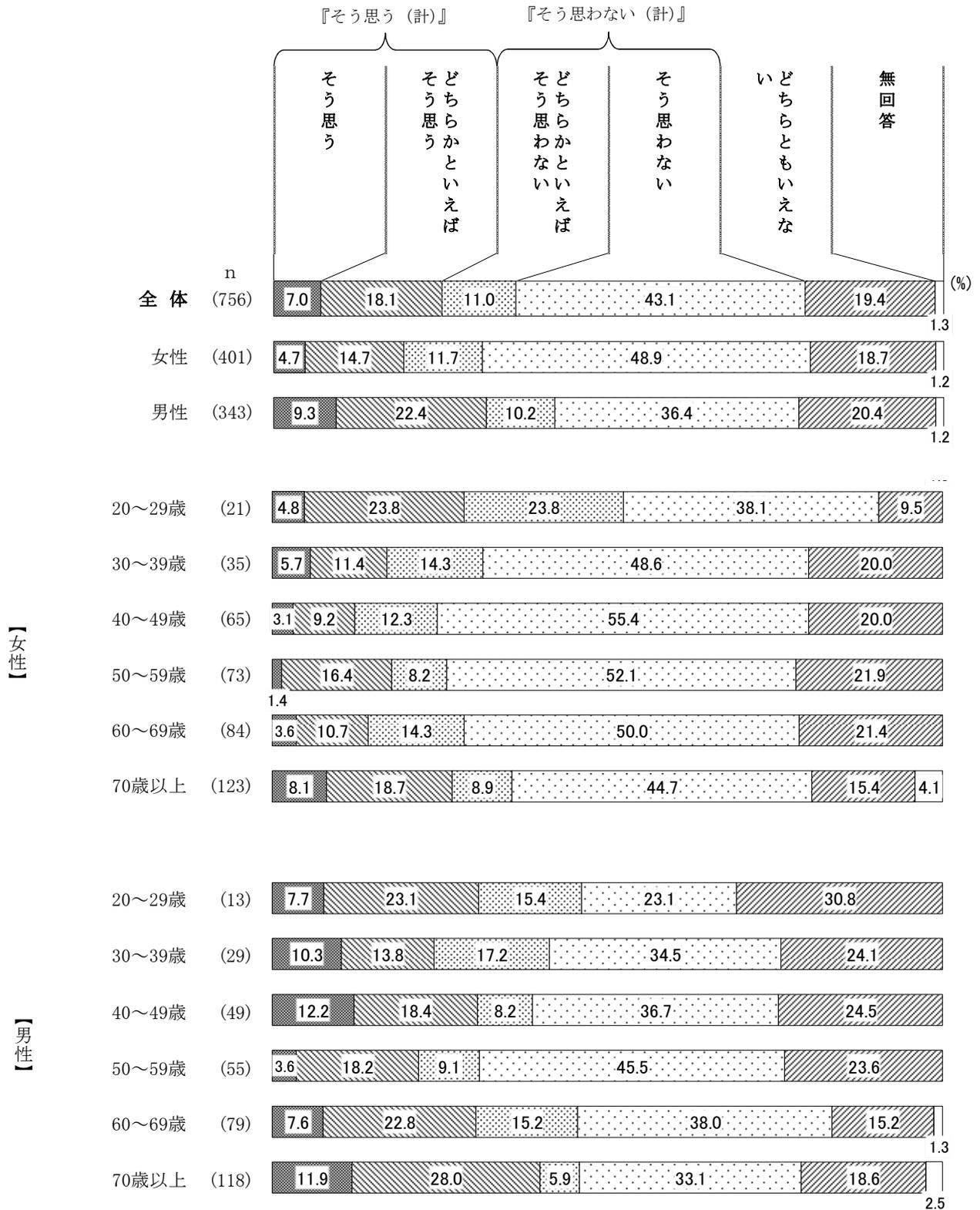
性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性20～29歳で約7割、女性30～39歳で6割、女性20～29歳で5割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、男性40～49歳で5割を超え、男性70歳以上で約5割、女性70歳以上、男性60～69歳以上で4割半ばと高くなっている。



(ク) 結婚した以上離婚すべきではない

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『そう思う(計)』は、男性70歳以上で約4割、男性20～29歳、40～49歳、60～69歳で3割と高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は、女性40～49歳で約7割、女性60～69歳で6割半ばと高くなっている。



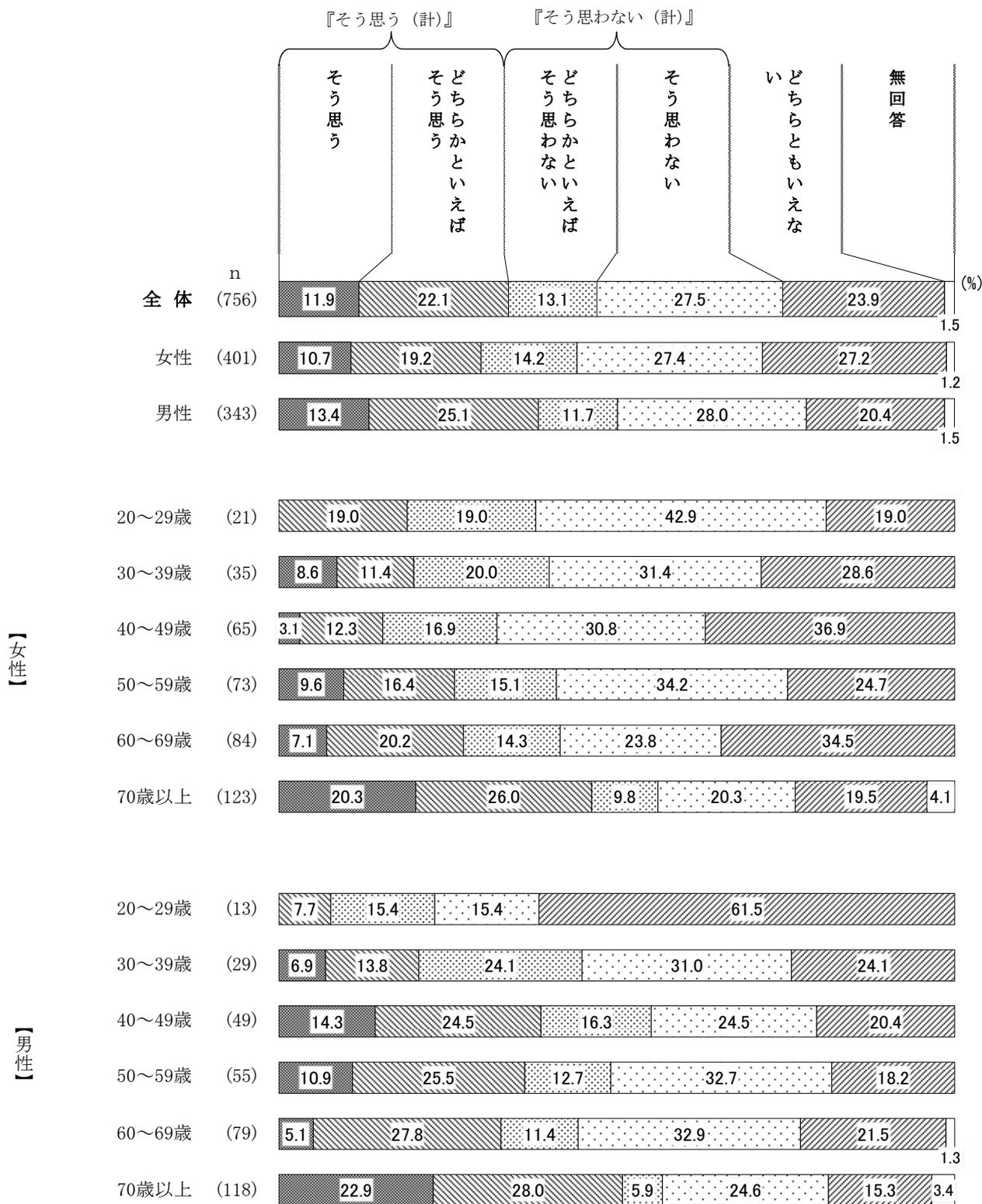
調査の結果／3 家庭生活について

(1) 結婚についての考え

(ケ) 子供ができれば結婚すればいい

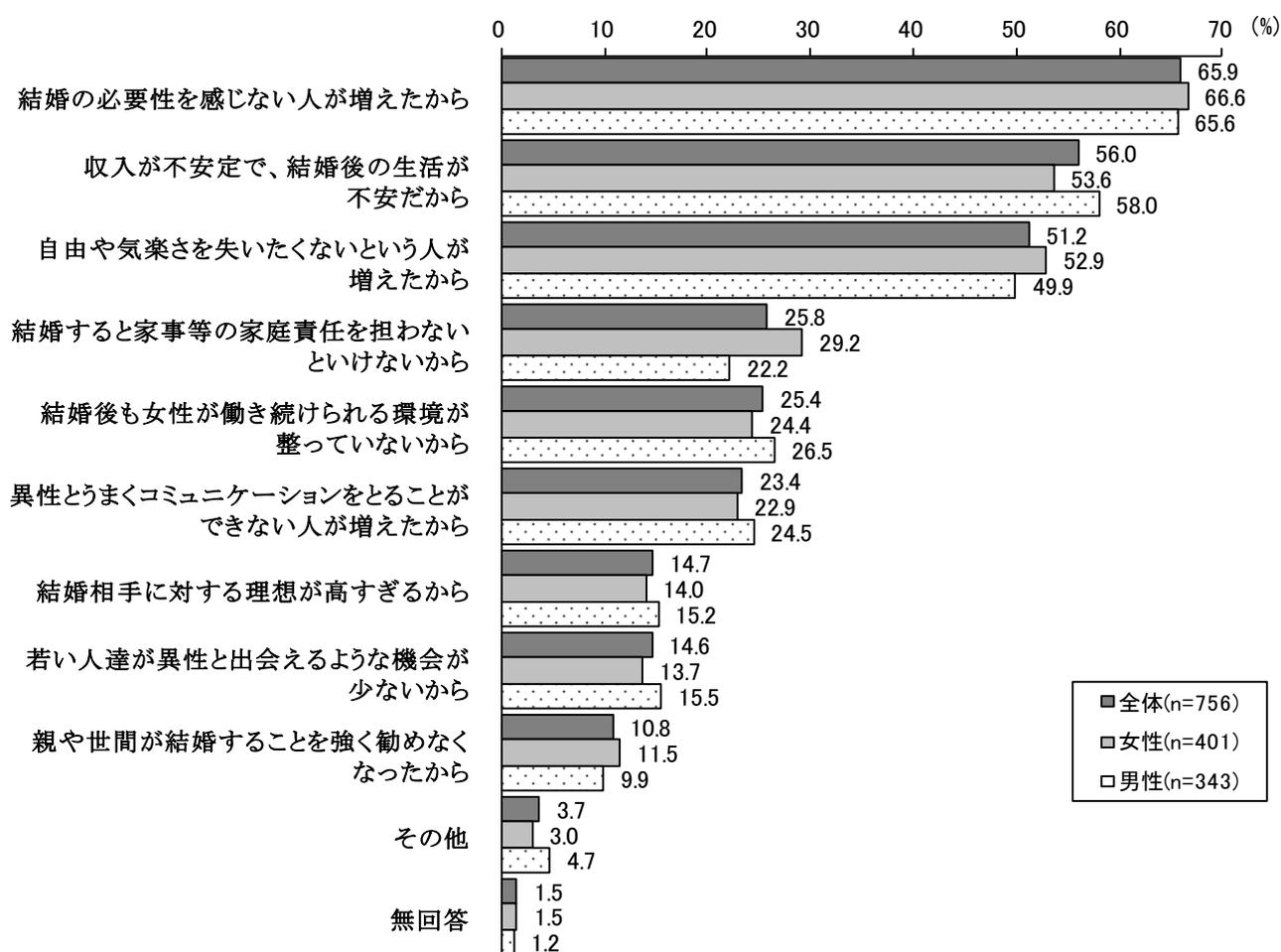
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『そう思う (計)』は、男性 70 歳以上で 5 割、女性 70 歳以上で 4 割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない (計)』は、女性 20～29 歳で 6 割を超え、男性 30～39 歳で 5 割半ばと高くなっている。



(2) 非婚化する理由

問4 最近、結婚しない（したくてもできない）人が増えていますが、その理由は何だと思えますか。該当する番号三つに○をつけてください。



非婚化する理由は、「結婚の必要性を感じない人が増えたから」が65.9%で最も高く、次いで「収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから」が56.0%、「自由や気楽さを失いたくないという人が増えたから」が51.2%となっている。

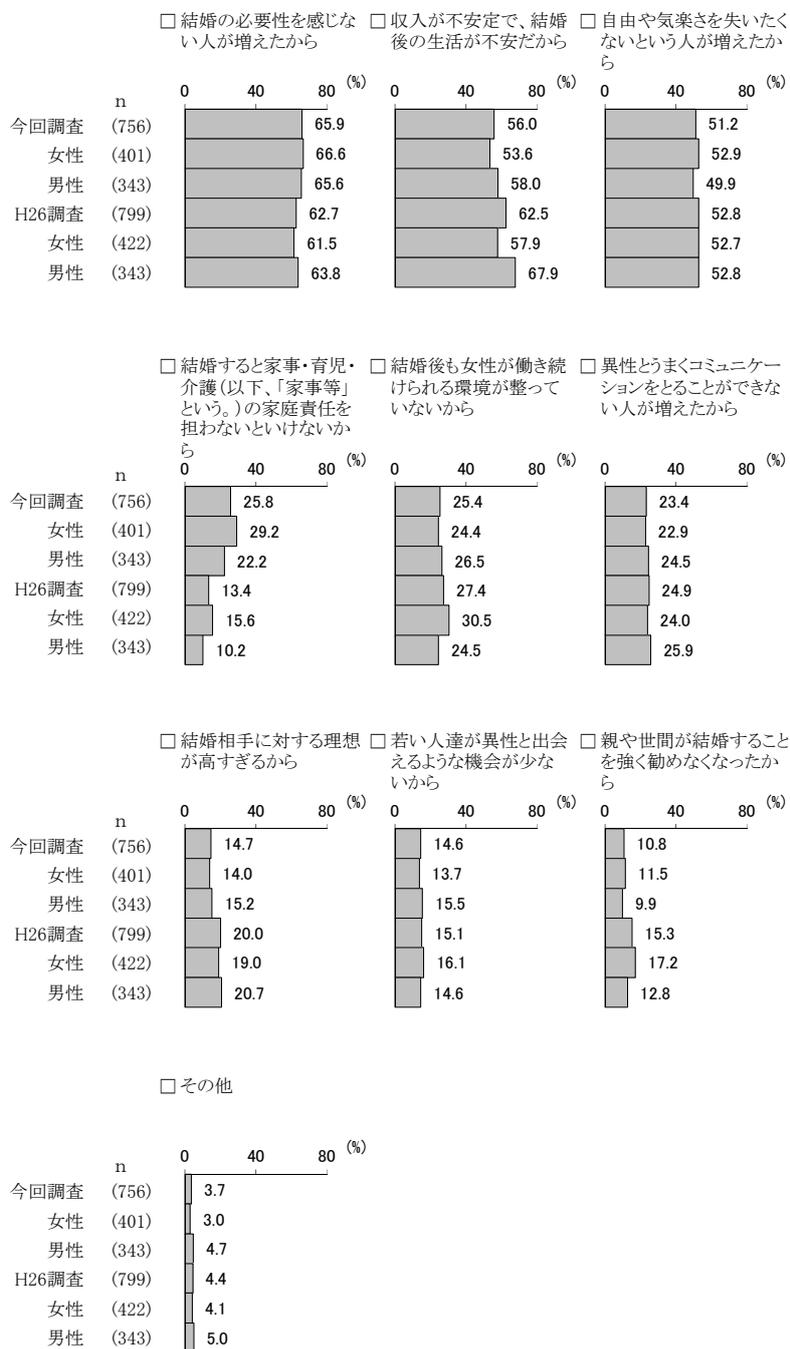
性別で見ると、「結婚すると家事・育児・介護（以下、「家事等」という。）の家庭責任を担わないといけないから」は女性が男性よりも7.0ポイント高く、「自由や気楽さを失いたくないという人が増えたから」も女性が3.0ポイント高くなっている。一方、「収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから」は男性が女性よりも4.4ポイント高くなっている。

調査の結果／3 家庭生活について

(2) 非婚化する理由

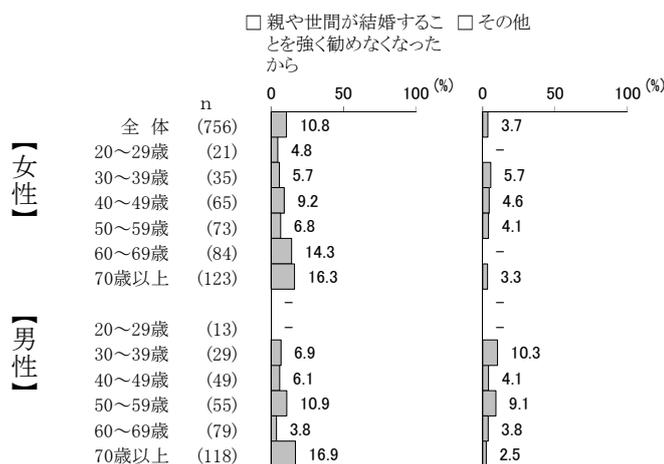
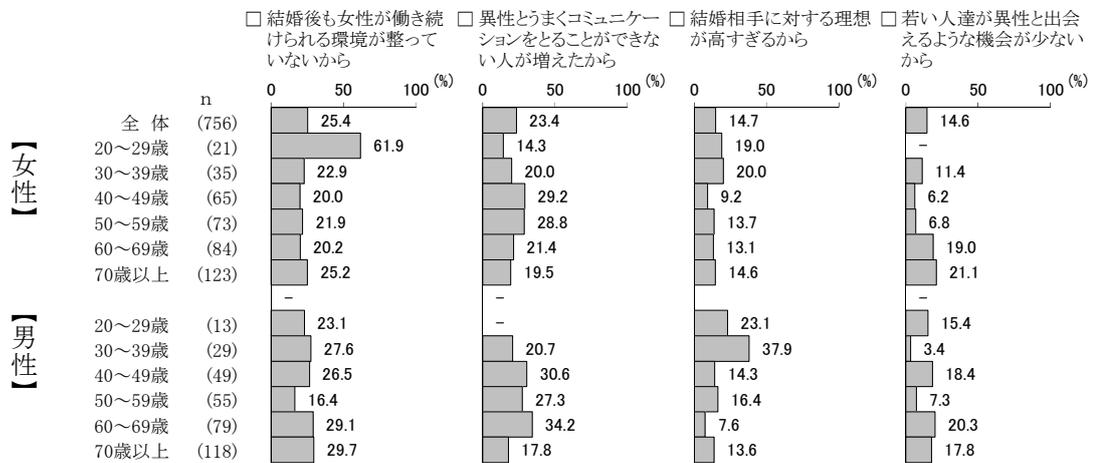
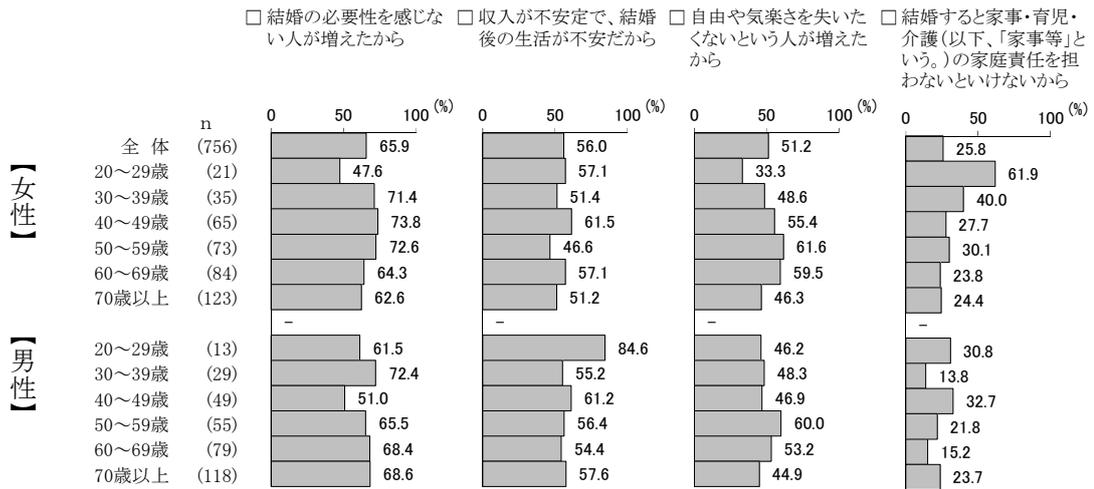
【前回調査（平成26年）との比較】

前回調査と比較すると、「結婚すると家事・育児・介護（以下、「家事等」という。）の家庭責任を担わないといけないから」は全体で今回調査が前回調査よりも12.4ポイント高くなっており、女性も今回調査が13.6ポイント、男性も今回調査が12.0ポイント高くなっている。全体で大きな差異はみられないが、「結婚の必要性を感じない人が増えたから」も女性で今回調査が前回調査よりも5.1ポイント高くなっている。一方、「収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから」は全体で今回調査が6.5ポイント低くなっており、女性も今回調査が4.3ポイント、男性も今回調査が9.9ポイント低くなっている。「結婚相手に対する理想が高すぎるから」も全体で今回調査が前回調査よりも5.3ポイント低くなっており、女性も今回調査が5.0ポイント、男性も今回調査が5.5ポイント低くなっている。全体で大きな差異はみられないが、「結婚後も女性が働き続けられる環境が整っていないから」も女性で今回調査が前回調査よりも6.1ポイント低くなっている。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「結婚の必要性を感じない人が増えたから」は、女性 40～49 歳で 7 割半ば、女性 30～39 歳、50～59 歳、男性 30～39 歳で 7 割を超えて高くなっている。「収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから」は、男性 20～29 歳で 8 割半ば、女性男性 40～49 歳で 6 割を超えて高くなっている。「自由や気楽さを失いたくないという人が増えたから」は、女性 50～59 歳で 6 割を超え、男性 50～59 歳で 6 割、女性 60～69 歳で約 6 割と高くなっている。「結婚すると家事・育児・介護（以下、「家事等」という。）の家庭責任を担わないといけないから」、「結婚後も女性が働き続けられる環境が整っていないから」は、女性 20～29 歳で 6 割を超えて高くなっている。



(3) 家事等の役割分担

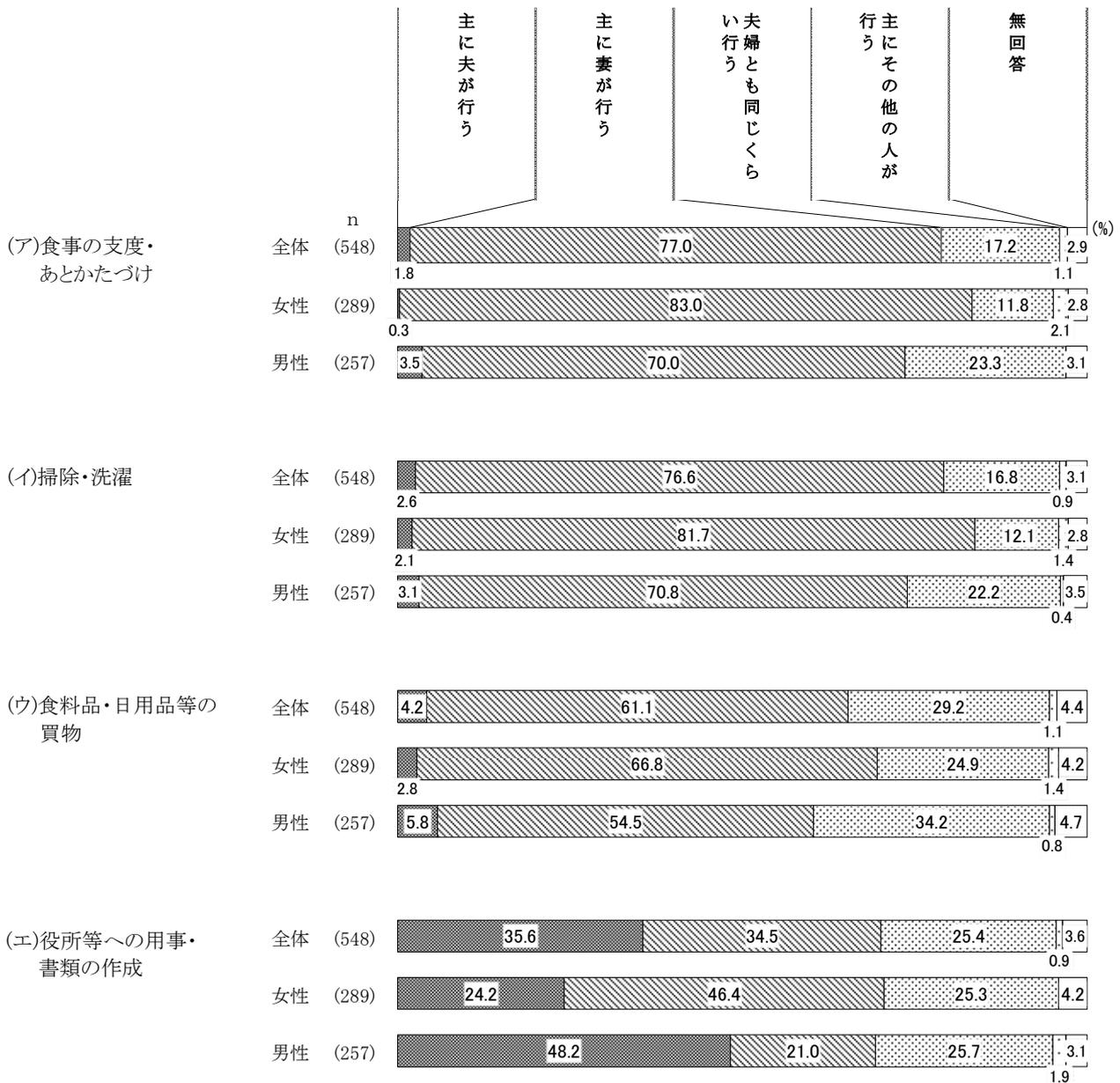
(3) 家事等の役割分担

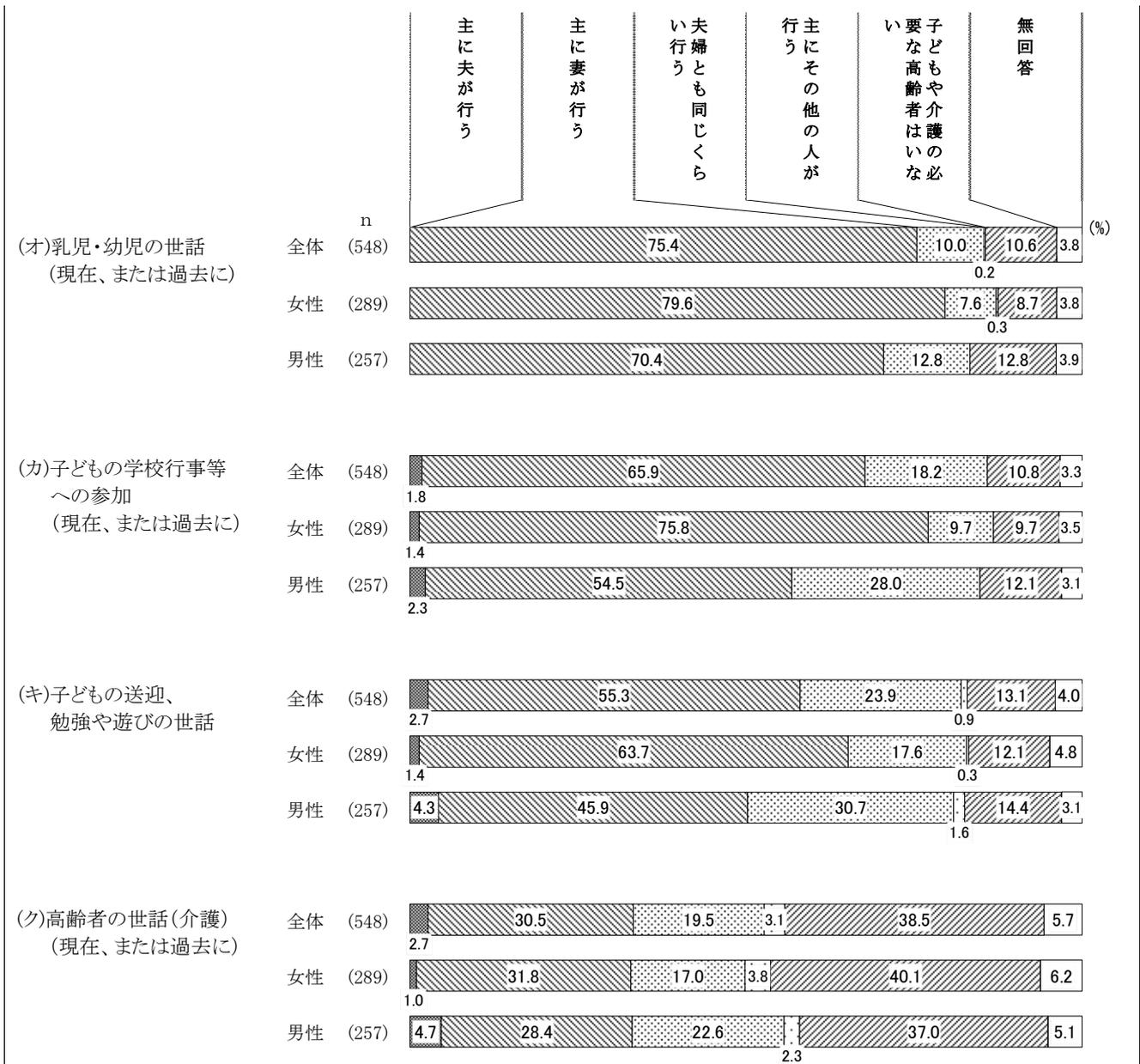
(ア) 現在の役割分担

※ 現在結婚（事実婚を含む）している方のみお答えください。

問5 あなたのご家庭では現在、家事等の日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。

また、あなたはどのような仕事の分担が理想的だと考えますか。それぞれについて、一番近い番号ひとつに○をつけてください。



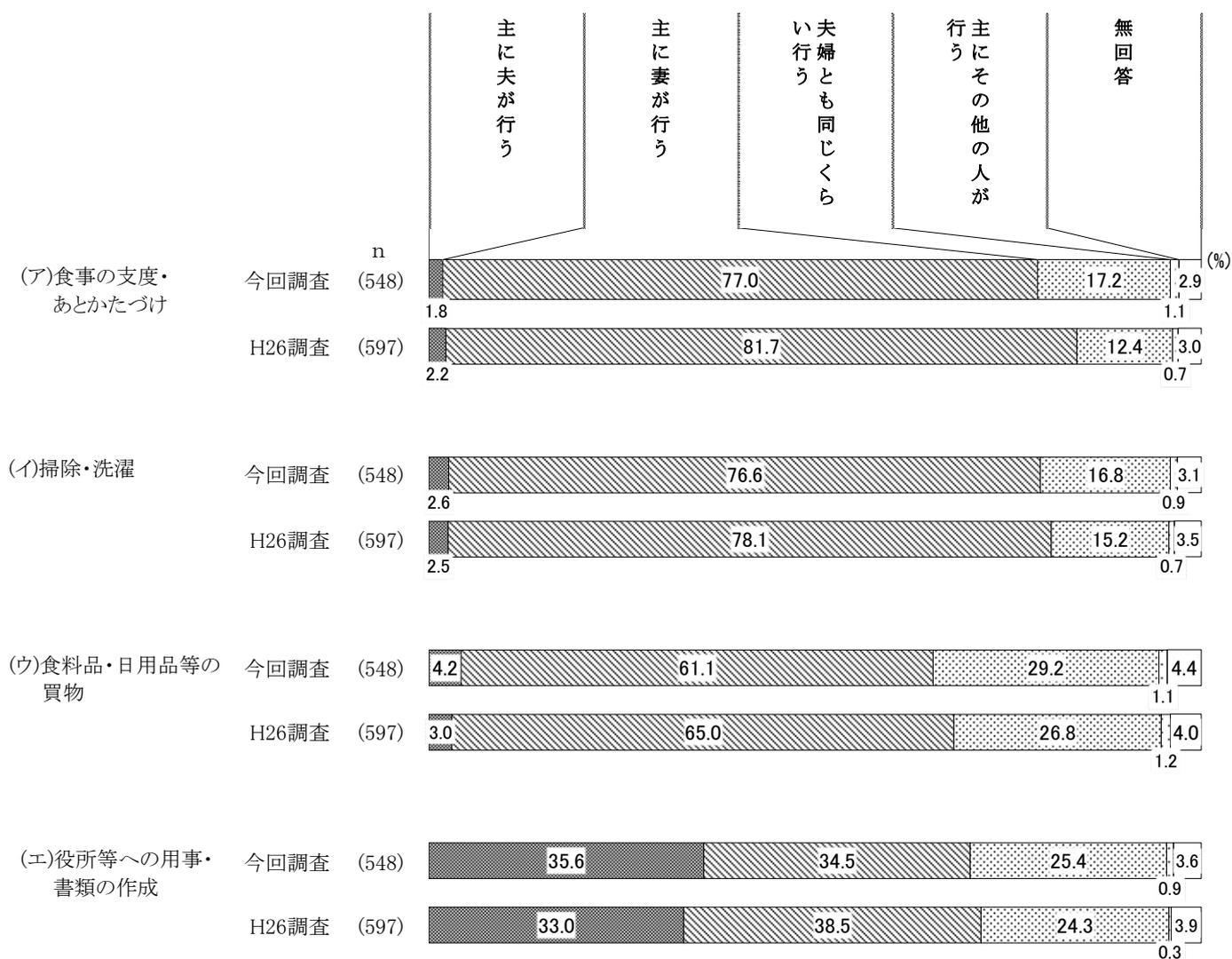


家事等の役割分担の現実には、「主に夫が行う」は、「(エ) 役所等への用事・書類の作成」が 35.6% で最も高くなっている。「主に妻が行う」は、「(ア) 食事の支度・あとかたづけ」が 77.0% で最も高く、次いで「(イ) 掃除・洗濯」が 76.6%、「(オ) 乳児・幼児の世話 (現在、または過去に)」が 75.4% となっている。「夫婦とも同じくらい行う」は、「(ウ) 食料品・日用品等の買物」が 29.2% で最も高く、次いで「(エ) 役所等への用事・書類の作成」が 25.4%、「(キ) 子どもの送迎、勉強や遊びの世話」が 23.9% となっている。

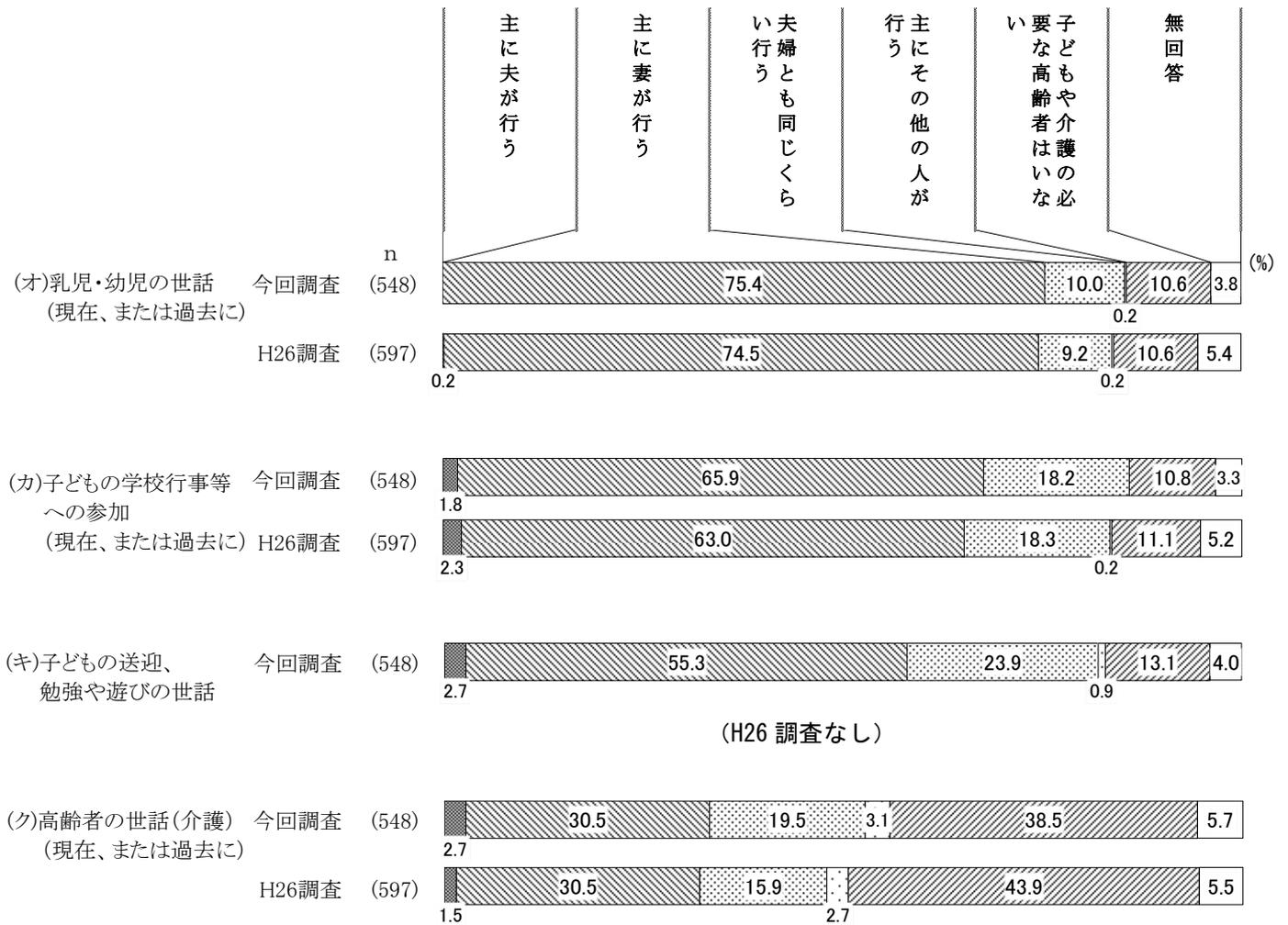
性別で見ると、「主に夫が行う」は「(エ) 役所等への用事・書類の作成」で男性が女性よりも 24.0 ポイント高くなっている。「主に妻が行う」は「(エ) 役所等への用事・書類の作成」で女性が男性よりも 25.4 ポイント高く、「(カ) 子どもの学校行事等への参加 (現在、または過去に)」も女性が 21.3 ポイント、「(キ) 子どもの送迎、勉強や遊びの世話」も女性が 17.8 ポイント高くなっている。「夫婦とも同じくらい行う」は「(カ) 子どもの学校行事等への参加 (現在、または過去に)」で男性が女性よりも 18.3 ポイント高く、「(キ) 子どもの送迎、勉強や遊びの世話」も男性が 13.1 ポイント高くなっている。

【前回調査（平成26年）との比較】

前回調査と比較すると、「夫婦とも同じくらい行う」は、「(ア) 食事の支度・あとかたづけ」で今回調査が前回調査よりも4.8ポイント、「(ク) 高齢者の世話(介護)(現在、または過去に)」も今回調査が3.6ポイント高くなっている。一方、「主に妻が行う」は「(ア) 食事の支度・あとかたづけ」で今回調査が前回調査よりも4.7ポイント、「(エ) 役所等への用事・書類の作成」で4.0ポイント、「(ウ) 食料品・日用品等の買物」で3.9ポイント低くなっている。



調査の結果／3 家庭生活について  
 (3) 家事等の役割分担

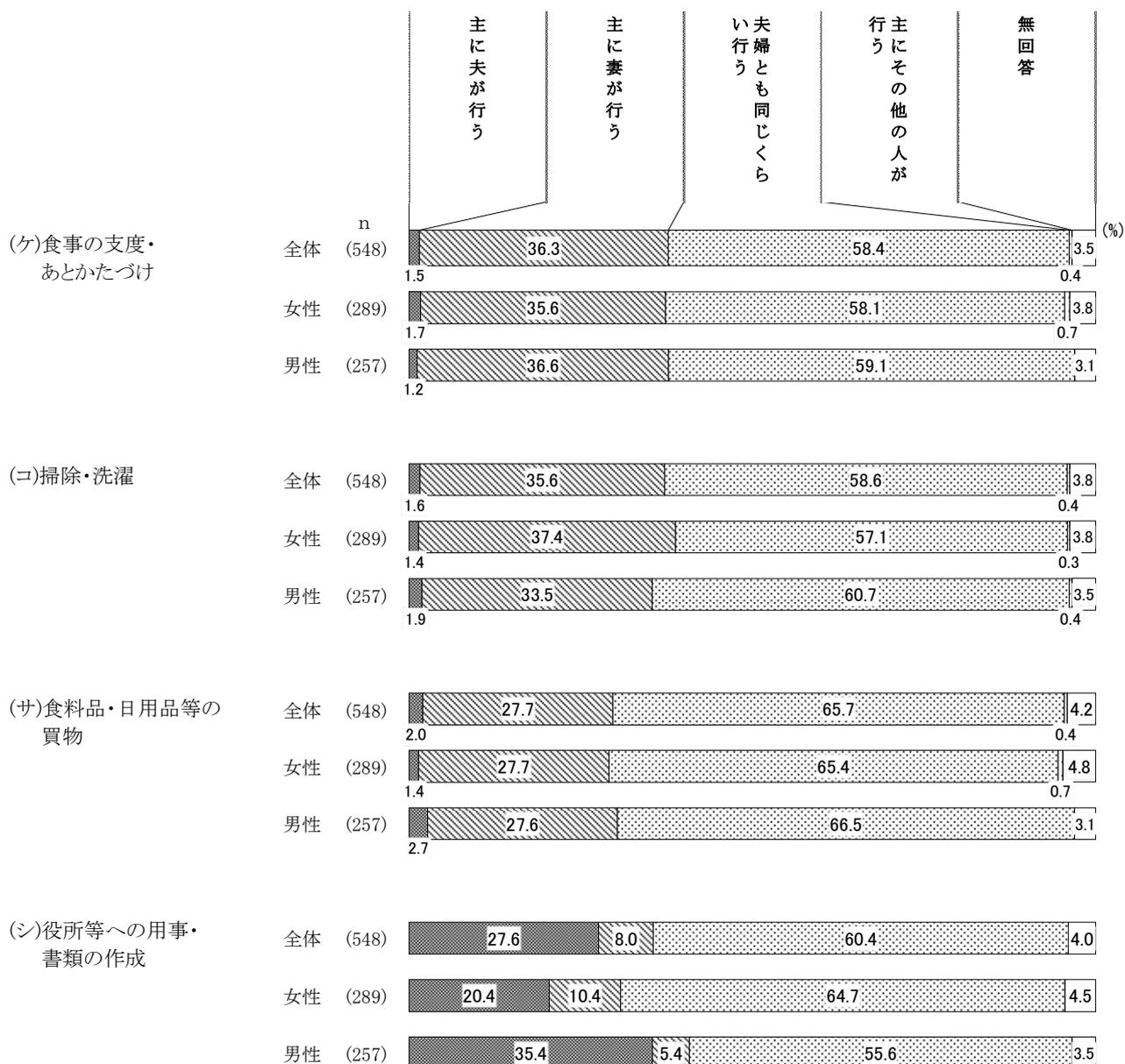


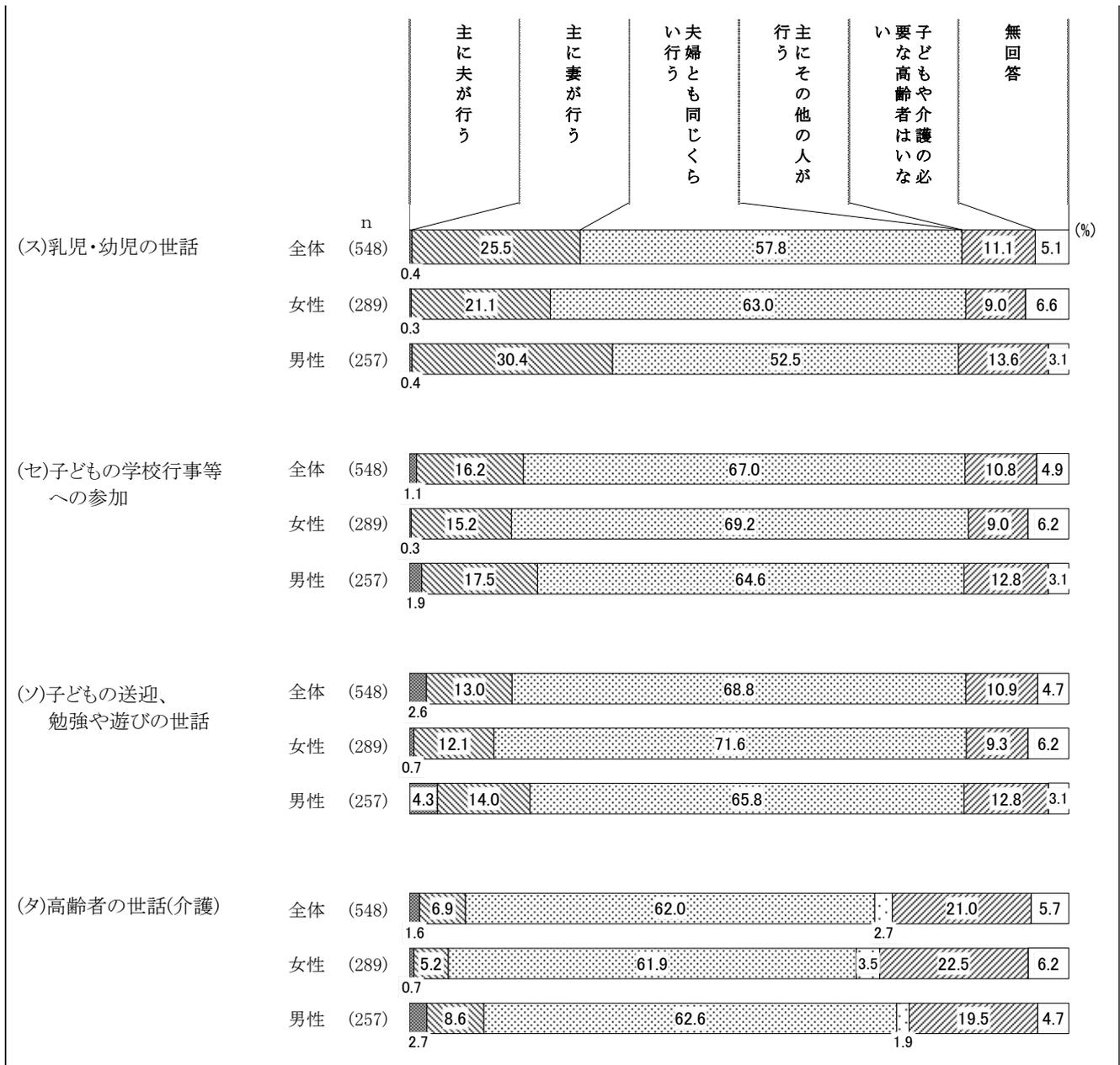
(イ) 理想の役割分担

※ 現在結婚（事実婚を含む）している方のみお答えください。

問5 あなたのご家庭では現在、家事等の日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。

また、あなたはどのような仕事の分担が理想的だと考えますか。それぞれについて、一番近い番号ひとつに○をつけてください。





家事等の役割分担の理想は、「主に夫が行う」は、「(シ) 役所等への用事・書類の作成」が27.6%で最も高くなっている。「主に妻が行う」は、「(ケ) 食事の支度・あとかたづけ」が36.3%で最も高く、次いで「(コ) 掃除・洗濯」が35.6%、「(サ) 食料品・日用品等の買物」が27.7%となっている。「夫婦とも同じくらい行う」は、「(ソ) 子どもの送迎、勉強や遊びの世話」が68.8%で最も高く、次いで「(セ) 子どもの学校行事等への参加」が67.0%、「(サ) 食料品・日用品等の買物」が65.7%、「(タ) 高齢者の世話(介護)」が62.0%となっている。

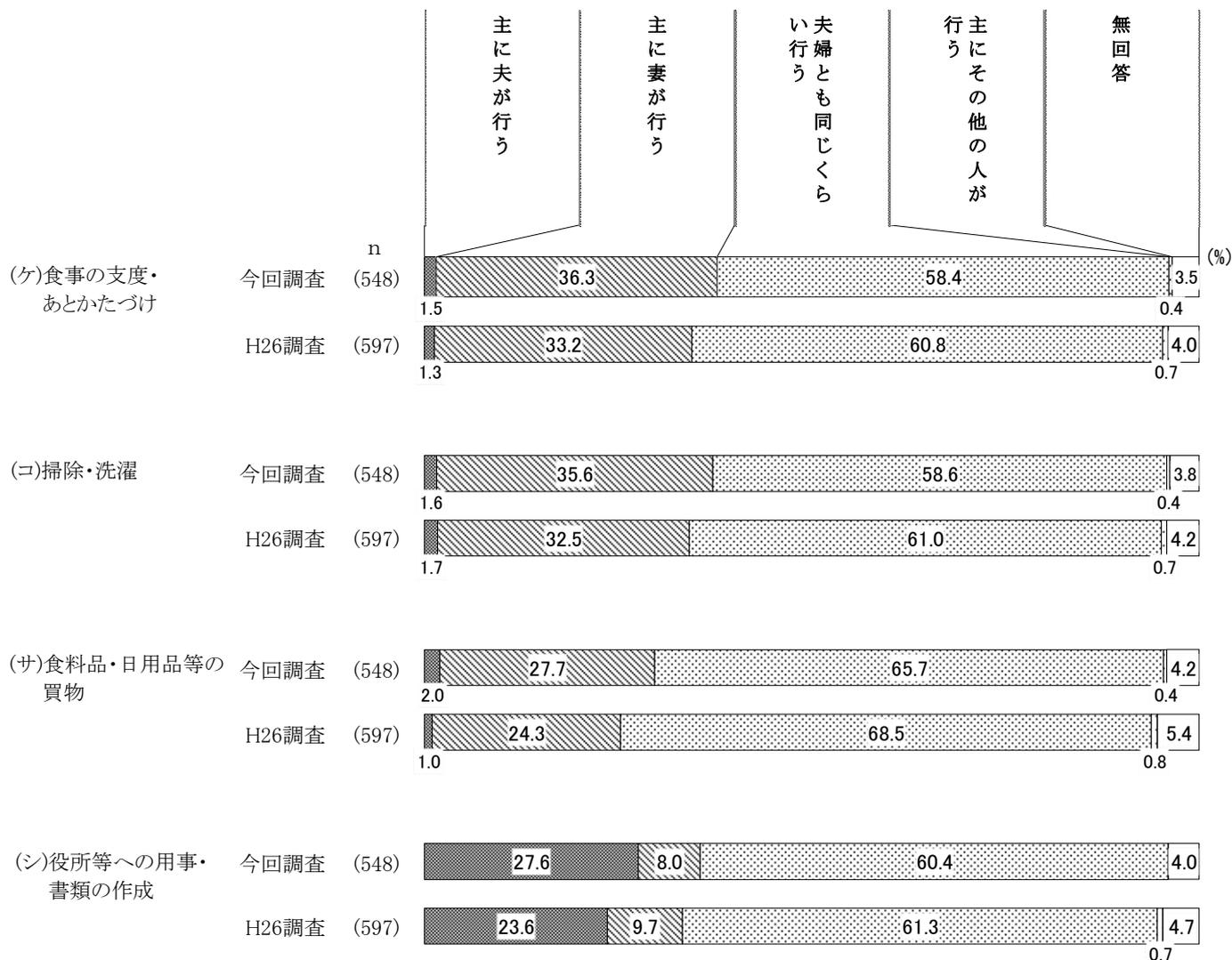
性別で見ると、「主に夫が行う」は「(シ) 役所等への用事・書類の作成」で男性が女性よりも15.0ポイント高くなっている。「主に妻が行う」は「(ス) 乳児・幼児の世話」で男性が女性よりも9.3ポイント高くなっている。一方、「(シ) 役所等への用事・書類の作成」で女性が男性よりも5.0ポイント高くなっている。「夫婦とも同じくらい行う」は「(ス) 乳児・幼児の世話」で女性が男性よりも10.5ポイント、「(シ) 役所等への用事・書類の作成」も女性が9.1ポイント高くなっている。

調査の結果／3 家庭生活について

(3) 家事等の役割分担

【前回調査（平成26年）との比較】

前回調査と比較すると、「主に夫が行う」は“(シ)役所等への用事・書類の作成”で今回調査が前回調査よりも4.0ポイント高くなっている。「主に妻が行う」も“(サ)食料品・日用品等の買物”で今回調査が前回調査よりも3.4ポイント、“(ケ)食事の支度・あとかたづけ”、“(コ)掃除・洗濯”で今回調査が3.1ポイント高くなっている。



調査の結果／3 家庭生活について  
 (3) 家事等の役割分担

